

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：クロルフェナピル [Chlorfenapyr (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

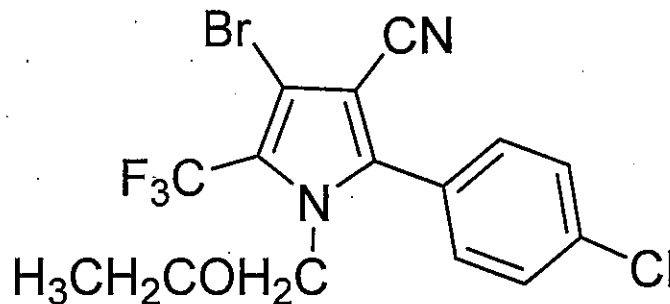
ピロール環を有する殺虫剤である。作用機構はミトコンドリアにおける酸化的リン酸化を阻害することにより細胞内 ATP を枯渇させ殺虫作用を示すと考えられている。

(3) 化学名：

4-bromo-2-(4-chlorophenyl)-1-ethoxymethyl-5-trifluoromethyl-1*H*-pyrrole-3-carbonitrile (IUPAC)

4-bromo-2-(4-chlorophenyl)-1-(ethoxymethyl)-5-(trifluoromethyl)-1*H*-pyrrole-3-carbonitrile (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{15}H_{11}BrClF_3N_2O$
分子量	407.61
水溶解度	0.12 mg/L (25°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 4.83$ (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

【作物名】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

国内での使用方法

10%クロルフェナピルフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	
りんご	キンモノホリガ、ナミハダニ、ハマキムシ類	2000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内	
	リンゴサビダニ、ヨモギエダシヤク	2000～4000 倍						
もも	ミカンキイロアザミウマ	2000 倍		収穫 7 日前まで				
	モモハモグリカ、ナミハダニ、カンザワハダニ、モモサビダニ							
ネクタリン	ミカンキイロアザミウマ	2000～4000 倍		収穫 14 日前まで				
	ナミハダニ、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ	2000 倍						
ぶどう	ナミハダニ、カンザワハダニ、ハスモンヨトウ、トビイロトラガ、モンククロメイカ、コガネムシ類	2000 倍						2000～4000 倍
	チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ、ミカンキイロアザミウマ、ブドウサビダニ	2000～4000 倍						
かき	カキクダアザミウマ、ナミハダニ、カンザワハダニ、イガ類	2000 倍						4000 倍
	カキハタムシガ、チャノキイロアザミウマ	2000～4000 倍						
	カキサビダニ	4000 倍						
なし	ナミハダニ、カンザワハダニ、ニセナシサビダニ	2000～3000 倍						2000 倍
	ヨモギエダシヤク、チャノキイロアザミウマ	2000 倍						
かんきつ	ミカンキイロアザミウマ、ヨモギエダシヤク	2000～4000 倍	4000～6000 倍		収穫前日まで			
	ミカンサビダニ、チャノホコリダニ、チャノキイロアザミウマ	4000～6000 倍						
	ハスモンヨトウ、リュウキュウミカンサビダニ、カネタタキ、スグリゾウムシ	4000 倍						
いちじく	カンザワハダニ、ヒラスハナアザミウマ	2000 倍	2 回以内					
小粒核果類	オウトウハダニ							
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ							
マンゴー	チャノキイロアザミウマ							
ゴレンシ	カンザワハダニ							
バナナ	バナナツヤオサゾウムシ							
					収穫 14 日前まで			

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	クロルフェナピル を含む 農薬の総 使用回数	
あずき	ハダニ類、ノメイガ類	2000 倍	100~300 L/10a	収穫 3 日 前まで	2 回 以内	散布	2 回 以内	
豆類 (未成熟、た だし、実えんどう 、さやえんどう を除く)	ハダニ類							
実えんどう	ハスモンヨトウ							
さやえんどう	ハスモンヨトウ、ハダニ類							
きゅうり	ミナキイロアザミウマ、ウリノメイガ 、ミナキイロアザミウマ、ハダニ類、 ウリハムシ			3 回 以内				
うり類 (漬物用)	ミナキイロアザミウマ、ハダニ類	4000 倍		収穫前日 まで	2 回 以内		2 回 以内	
すいか	ミナキイロアザミウマ 、ハダニ類、オオタバコガ							
にがうり かぼちゃ (日本かぼちゃ)	ミナキイロアザミウマ	2000 倍		100~300 L/10a	収穫前日 まで		3 回 以内	3 回 以内
トマト ミニトマト	オオタバコガ、ナシハダニ、 ミナキイロアザミウマ、 トマトサビダニ							
なす	ミナキイロアザミウマ、 ハダニ類、ミナキイロアザミウマ、 ヨトウムシ、チャノホリダニ、 オオタバコガ、ハスモンヨトウ、 テントウムシダマシ類							
ピーマン とうがらし類 (ししとうを除く)	ミナキイロアザミウマ、 ミナキイロアザミウマ、 オオタバコガ、ハダニ類							
ししとう	ヒラズハナアザミウマ		4000 倍					
キャベツ	コガ、アオムシ、 タマキシンウバ、ハスモンヨトウ、 ヨトウムシ、シロイモシヨトウ、 オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	2000 倍	100~300 L/10a	収穫 3 日 前まで	2 回 以内	2 回 以内		
ブロッコリー	コガ、アオムシ、 ヨトウムシ、ハスモンヨトウ							
茎ブロッコリー	アオムシ							
カリフラワー	コガ							
メキャベツ 非結球メキャベツ なばな	ハスモンヨトウ						収穫 7 日 前まで	

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回 数	使用 方法	クロルフェナピル を含む 農薬の総 使用回数		
はくさい	コガ、アムシ、ヨウムシ	2000 倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回 以内		
非結球あぶら な科葉菜類 (こ まつな、ひろし まなを除く)	コガ			収穫3日前まで	1回		1回		
ひろしまな	コガ、アムシ			収穫14日前ま で	2回 以内		2回 以内		
こまつな				1回	1回				
だいこん	アムシ、コガ、 ダコノコバムシ			収穫14日前ま で	2回 以内	散布、ただし花 穂の発生期に はマルチフィルム被覆 により散布液 が直接花穂に 飛散しない状 態で使用する	2回 以内		
かぶ	コガ、ヨウムシ、 ナメコバエ			収穫前日まで					
みょうが (花穂)	ハダニ類			みょうが(花穂) の収穫前日まで ただし、花穂を 収穫しない場合 にあつては開 花期終了まで					
みょうが (茎葉)									
いちご	ハダニ類、 ハスモンヨウ、 シラメンホリダニ、 シロキイロアザミウマ			収穫前日まで					
ねぎ	シロイモシヨウ			収穫7日前まで					
オクラ	ハスモンヨウ、 オオタバコガ			収穫前日まで					
レタス	ハスモンヨウ、 オオタバコガ、 ナメコバエ、ヨウムシ			収穫3日前まで				散布	
非結球レタス									
モロヘイヤ	アザミウマ類			収穫14日前ま で				1回	1回
あしたば	ウドノメイガ			収穫7日前まで	2回 以内				
やまのいも	カンザワハダニ、 カバノコガ			収穫前日まで					
やまのいも (むかご)				収穫3日前まで					
かんしょ	ハスモンヨウ、ハダニ類			収穫前日まで					
はすいも (葉柄)	カンザワハダニ			収穫3日前まで					
さといも (葉柄)									
さといも	カンザワハダニ、 ハスモンヨウ	収穫7日前まで							

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	クロルフェナピル を含む 農薬の総 使用回数	
アスパラガス	ハダニ類、材カハコガ、 ハスモンヨトウ、ヨウムシ、 ジュウシホシクビナガハムシ	2000 倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2 回 以内	散布	2 回 以内	
ふき	ハスモンヨトウ、ハダニ類			収穫 7 日前まで				
ふき (ふきのとう)				収穫 90 日前まで				
てんさい	ヨウムシ、ハダニ類 カメノコハムシ			収穫 7 日前まで				
セルリー	ヨウムシ			収穫 14 日前まで				
にんじん				収穫前日まで				
みつば	ハスモンヨトウ			収穫 14 日前まで ただし、伏せ込み 栽培は伏せ込み前 まで	1 回		1 回	
コリアンダー (葉)				収穫 14 日前まで 収穫 3 日前まで 収穫 14 日前まで 収穫 7 日前まで	2 回 以内		2 回 以内	
エンサイ								
やなぎたで								
つるむらさき								
しゅんぎく しょうが				ハダニ類、ヨウムシ	収穫前日まで		2 回 以内	2 回 以内
すいぜんじな					収穫 3 日前まで		1 回	1 回
よもぎ				シキイロアザミ	収穫 14 日前まで		2 回 以内	2 回 以内
葉にんにく		ハダニ類	収穫 90 日前まで	3 回 以内	3 回 以内			
つわぶき								
たらのき								
はまぼうふう (葉)	シラメンホリダニ	親株養成期 ただし、収穫 90 日 前まで	2 回 以内	2 回 以内				
うど		根株養成期 ただし、収穫 75 日 前まで						
ほうれんそう	ホレンソウケガコナダニ	4000~ 6000 倍	2 葉期まで ただし、収穫 14 日 前まで	1 回	1 回			
さんしょう (果実)	チャノキイロアザミ	4000 倍	収穫 7 日前まで	2 回 以内	2 回 以内			
食用プリムラ	ハスモンヨトウ、ハダニ類、 ヨウムシ類、 シキイロアザミ	2000 倍	収穫 14 日前まで					
食用金魚草	シキイロアザミ ヨウムシ類 ハダニ類							
食用なでしこ								
食用エキザカム								
食用せんいちこう								
食用トレニア								
食用パンジー								
食用ミニバラ	収穫 3 日前まで							

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	クロルフェナピル を含む 農薬の総 使用回数
茶	チャノミドリヒメコバエ、 チャノキイロアザミウマ、 カンザウハダニ、 チャノカサビダニ、 チャノホリダニ、 ヨモギエダシヤク、 チャノコカクモンハマキ、 マダラカサハラハムシ チャトゲコナジラミ	2000 倍	200～400 L/10a	摘採 7 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回 以内
食用ぎく きく(葉)	ミカンキイロアザミウマ、 ミナミキイロアザミウマ、 ハダニ類、オオカバコガ、 アワダチソウゲンバエ、 ヨトウムシ類		100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで			
ブルーベリー	イガ類		200～700 L/10a	収穫前日 まで	2 回 以内		2 回 以内
とうもろこし ヤングコーン	オオカバコガ		100～300 L/10a				

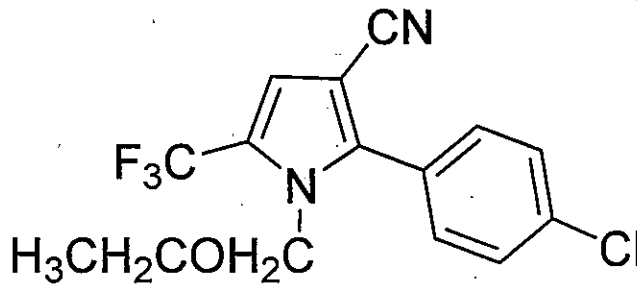
作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	クロルフェナピルを 含む農薬の 総使用回数
みかん	温室、ガラス 室等密閉 できる場所	ミカンキイロアザミウマ	300mL/10a	10L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	常温 煙霧	2 回以内
ぶどう		チャノキイロアザミウマ	150mL/10a	6L/10a	収穫 14 日 前まで			

3. 作物残留試験

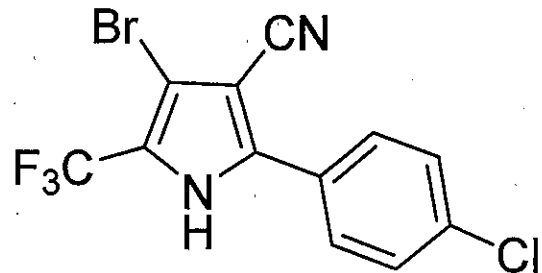
(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・クロルフェナピル
- ・2-(4-クロロフェニル)-1-(エトキシメチル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル (以下、代謝物 D という。)
- ・4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル (以下、代謝物 F という。)



代謝物 D



代謝物 F

② 分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム又はシリカゲルカラムあるいは C₁₈カラム、シリカゲルカラムで精製し、ガスクロマトグラフ (NPD 又は ECD) で定量する。代謝物については、*n*-ヘキサンに転溶後、シリカゲルカラムで精製し、メチル化してガスクロマトグラフ (NPD) で定量する。

または、クロルフェナピルについて、試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、フロリジルカラム又は多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム、フロリジルカラムあるいはグラファイトカーボン・エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) 積層カラムで精製した後、ガスクロマトグラフ (NPD 又は ECD) 又はガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後、グラファイトカーボン・NH₂・シリカゲル積層カラムで精製し、ガスクロマトグラフ (ECD) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

定量限界: クロルフェナピル: 0.004~0.3 ppm

代謝物 D: 0.006 ppm

代謝物 F: 0.006~0.02 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

4. 畜産物への推定残留量

(1) 動物飼養試験 (家畜残留試験)

① 乳牛における残留試験

乳牛に対して飼料中濃度としてクロルフェナピル0、0.66、2.19、6.81ppmに相当する量のクロルフェナピルを28日間にわたり経口投与し、乳、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロルフェナピル含量を測定した（定量限界：筋肉、脂肪及び乳：0.01 ppm、肝臓及び腎臓：0.05 ppm）。結果については表1参照。

表 1. 乳牛の組織中の最大残留 (ppm)

	0.66ppm 投与群	2.19ppm 投与群	6.81ppm 投与群
筋肉	<0.01	0.017	0.022
脂肪	0.067	0.429	0.597
肝臓	<0.05	<0.05	<0.05
腎臓	<0.05	<0.05	<0.05
乳	<0.01	0.035	0.042

上記の結果に関連して、オーストラリアでは、乳牛におけるMTDB^{注)}は0.47ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考 : Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してフェニル環を均等に標識したクロルフェナピル (Phe-¹⁴C) またはピロール環の2位を標識したクロルフェナピル (Pyr-¹⁴C) を7日間にわたりカプセル経口投与（低用量群 : 0.22 mg/kg 体重 (飼料中3.02~3.10ppm相当)）、高用量群 : 1.1mg/kg 体重 (同14.42~15.04ppm相当)）し、液体クロマトグラフ (MSD) を用いて筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロルフェナピルについて測定を行った（定量限界 : 0.01ppm）。また、鶏卵についても投与開始後1~7日に採卵しクロルフェナピルについて分析した。結果については表2参照。

表 2. 鶏の組織中の最大残留 (ppm)

	Phe- ¹⁴ C		Pyr- ¹⁴ C	
	低用量	高用量	低用量	高用量
筋肉	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
脂肪	0.04	0.39	0.07	0.29
肝臓	<0.01	0.04	<0.01	0.03
腎臓	0.02	0.05	<0.01	0.04
鶏卵	0.03	0.17	0.03	0.16

上記の結果に関連して、オーストラリアでは産卵鶏における MTDB を 0.38ppm と評価している。

5. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロルフェナピルに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：2.6 mg/kg 体重/day
(動物種) ラット
(投与方法) 混餌投与
(試験の種類) 慢性神経毒性試験
(期間) 1 年間
安全係数：100
ADI：0.026 mg/kg 体重/day

6. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてトマト、ピーマン等に、カナダにおいてトマト、なす等に、EU において茶等に、オーストラリアにおいてりんご、畜産物等に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

クロルフェナピルとする。

一部の作物残留試験において代謝物 D 及び代謝物 F の分析が行われているが、代謝物 D 及び代謝物 F の残留はクロルフェナピルの残留に比べて十分に低いことから、規制対象物質としては含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物中の暴露評価対象物質としてクロルフェナピル（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙 2 のとおりである。

(3) 暴露評価

作物残留試験成績等がある食品については推定される平均的な量まで、それ以外の食品については基準値案の上限の量までクロルフェナピルが残留していると仮定し、国民栄養調査結果における各食品の平均摂取量に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くない

との仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%) 注)
国民平均	18.9
幼少児 (1~6 歳)	32.5
妊婦	14.5
高齢者 (65 歳以上)	20.4

注) 個別の作物残留試験成績等がある食品については EDI 試算、それ以外の食品については TMDI 試算を行った。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI 試算法：作物残留試験成績から推定される残留量×各食品の平均摂取量

クロルフェナピル作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^(注1) (ppm) 【クロルフェナピル/代謝物D/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	21, 28, 42日	圃場A: 0.291 [*] /-/<0.006 [*] (*2回, 21日) 圃場B: 0.108 [*] /-/<0.006 [*] (*2回, 21日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.38 [*] (*2回, 14日) /-/<0.006 ^{**} (**2回, 3日) 圃場B: 0.420 [*] (*2回, 7日) /-/<0.006 ^{**} (**2回, 3日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L, 600L/10a	2回	1, 7, 21日	圃場A: 0.60 (2回, 7日) /-/ 圃場B: 0.69 /-/
だいこん (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.014/<0.006/<0.006 圃場B: 0.02/<0.006/<0.006
だいこん (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.27/-/<0.012 圃場B: 1.42/-/0.019 [*] (*2回, 21日)
キャベツ (葉球)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.124 [*] /<0.006 [*] /<0.006 [*] (*2回, 7日) 圃場B: 0.22 [*] /<0.006 [*] /<0.006 [*] (*2回, 7日)
キャベツ (葉球)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.30 (2回, 3日) /-/ 圃場B: 0.33/-/
なす (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.324/-/<0.006 圃場B: 0.164/-/<0.006
なす (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.18/-/
きゅうり (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.166/-/<0.006 圃場B: 0.118/-/<0.006
きゅうり (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.05/-/
はくさい (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.14 [*] (*2回, 14日) /-/<0.006 ^{**} (**2回, 7日) 圃場B: 0.09 [*] /-/<0.006 [*] (*2回, 7日)
はくさい (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.64/-/
茶 (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 30.8/-/0.37 [*] (*2回, 14日) 圃場B: 15.8/-/0.09
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.36/-/<0.02 圃場B: 0.22/-/<0.02
茶 (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A: 20.3/-/
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A: 0.38/-/
かき (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.39/-/
いちご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	22日 57日	圃場A: 0.04 (2回, 22日) /-/
いちご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.30/-/
なし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.35/-/
なし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L, 450L/10a	3回	1, 3, 7, 21日	圃場B: 0.28/-/
レタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.43/-/
レタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L~200L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.21 (2回, 7日) /-/
レタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 270L, 200L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場B: 0.09 (2回, 7日) /-/
レタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 270L, 200L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.52/-/
レタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 270L, 200L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場B: 0.04/-/
てんさい (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.36 (2回, 3日) /-/
ブロッコリー (花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.12 (2回, 14日) /-/
ブロッコリー (花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L, 256L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場B: 0.05 (2回, 14日) /-/
みかん (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.174 (2回, 7日) /-/
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場B: 0.420 (2回, 7日) /-/
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 1.10/-/
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場B: 0.27/-/
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.07/-/
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場B: 0.03/-/
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 2.24/-/
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場B: 0.74/-/

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【クロルフェナピル/代謝物D/代謝物F】	
みかん (果肉)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.02/-/- 圃場B: <0.02/-/-	
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 3.90 (2回, 3日) /-/- 圃場B: 1.69/-/-	
なつみかん (果実全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.35 (2回, 7日) /-/- 圃場B: 0.73 (2回, 3日) /-/-	
なつみかん (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
なつみかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 1.14 (2回, 7日) /-/- 圃場B: 2.32 (2回, 3日) /-/-	
ゆず (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.26 (2回, 3日) /-/- 圃場B: 0.48 (2回, 7日) /-/-	
もも (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
もも (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A: 3.52 (2回, 3日) /-/- 圃場B: 2.22 (2回, 3日) /-/-	
ピーマン (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.36/-/-	
チンゲンサイ (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A: 1.38 (1回, 7日) /-/- 圃場B: 0.52 (1回, 7日) /-/-	
オクラ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1又は 2回	1, 2, 3日	圃場A: 0.22/-/- 圃場B: 0.30/-/-	
おうとう (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	14, 21日 14, 22日	圃場A: 0.32 (2回, 21日) /-/- 圃場B: 0.12/-/-	
あずき (乾燥子実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
菜ねぎ (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.30/-/- 圃場B: 0.74/-/-	
根深ねぎ (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.90/-/- 圃場B: 0.82/-/-	
トマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.09/-/- 圃場B: 0.12 (2回, 3日) /-/-	
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 350L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.08 (2回, 30日) /-/- 圃場B: 0.84 (2回, 30日) /-/-	
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 333, 300L/10a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A: 2.39 (2回, 21日) /-/- 圃場B: 0.83/-/-	
ぶどう (果実)	1	10%フロアブル	40倍常温煙霧散布 6L/10a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A: 0.16/-/-	
ぶどう (果実)	1	10%フロアブル	85倍常温煙霧散布 12.8L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.27/-/-	
さといも (塊茎)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: <0.005 (3回, 7日) (注2) /-/-	
さといも (塊茎)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.006/-/-	
さといも (葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.50/-/- 圃場B: 0.08/-/-	
アスパラガス (茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.02/-/-	
ふき (葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.22/-/- 圃場B: 0.34/-/-	
いちじく (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.48/-/-	
いちじく (可食部)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.45/-/-	
すいか (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
こまつな (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 2.84/-/- 圃場B: 2.28/-/-	
こまつな (葉茎)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回 2回	7, 14日	圃場A: 1.22/-/- 圃場B: 1.70 (2回, 7日) (注2) /-/-	
みょうが (花穂)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: <0.05/-/-	

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロルフェニビル/代謝物D/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ししとう (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.90/-/- 圃場B: 2.35/-/-
ししとう (果実)	2	10%フロアブル	4000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.42/-/- 圃場B: 0.27/-/-
伏見甘長 とうがらし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.51 (2回、3日) /-/- 圃場B: 0.68/-/-
モロヘイヤ (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 260L, 160L/10 a	1回	14, 21日	圃場A: 0.36/-/- 圃場B: 0.16/-/-
あしたば (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	7, 14日	圃場A: 0.6/-/- 圃場B: <0.3/-/-
カリフラワー (花蕾)	1	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.38/-/-
カリフラワー (花蕾)	1	10%フロアブル	2000倍散布 380L/10 a	2回	3, 7, 13日	圃場A: 0.154 (2回、3日) (H) /-/-
やまのいも (塊茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01 (2回、1日) (H) /-/-
やまのいも (むかご)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.57 (2回、7日) (H) /-/- 圃場B: 0.66 (2回、3日) (H) /-/-
かんしょ (塊根)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
はすいも (葉柄)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06 (2回、3日) /-/-
はすいも (葉柄)	1	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.08 (2回、7日) /-/-
ひろしまな (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 160L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 1.06/-/- 圃場B: 2.74/-/-
ネクタリン (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400, 600L/10 a	2回	7, 14日	圃場A: 0.28 (2回、14日) /-/- 圃場B: 0.45/-/-
さんしょう (果実)	2	10%フロアブル	4000倍散布 300L/10 a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A: 0.72/-/- 圃場B: 0.56 (2回、14日) /-/-
サラダ菜 (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 260L, 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 7.58/-/- 圃場B: 4.38/-/-
サラダ菜 (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 4.88/-/- 圃場B: 11.6/-/-
リーフレタス (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 2.84/-/- 圃場B: 6.14/-/-
リーフレタス (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 11.0/-/- 圃場B: 5.66/-/-
ミニトマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 200L/10 a	2回	1, 7, 14日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.12 (2回、7日) /-/-
ミニトマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 297L/10 a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.35 (3回、3日) /-/- 圃場B: 0.48/-/-
かぶ (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 9.60/-/- 圃場B: 4.66 (2回、3日) /-/-
かぶ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.02/-/- 圃場B: 0.05 (2回、14日) /-/-
かぶ (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 270L/10 a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 9.52/-/- 圃場B: 5.37 (2回、14日) /-/-
かぶ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 270L/10 a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 0.02/-/- 圃場B: 0.04 (2回、7日) /-/-
未成熟えんどう (さや)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 460L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.58/-/- 圃場B: 0.96 (2回、1日) (H) /-/-
すいぜんじな (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 11.2 (2回、3日) /-/- 圃場B: 4.0/-/-
非結球 メキャベツ (えぎ芽葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.38/-/- 圃場B: 0.24/-/-
非結球 メキャベツ (本葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 4.62/-/- 圃場B: 5.82/-/-
みずな (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 100L/10 a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 1.28/-/- 圃場B: 4.86/-/-
山東菜 (莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 0.88/-/- 圃場B: 1.96/-/-

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【クロロフェナビル/代謝物D/代謝物F】	
茎ブロッコリー (花蕾と花茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.39/-/- 圃場B: 0.72/-/-	
なばな (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.96/-/- 圃場B: 0.95/-/-	
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.085/-/- 圃場B: 0.080/-/-	
ゴレンシ (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.74/-/- 圃場B: 0.74 (2回, 21日) /-/-	
メキャベツ (脇芽)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: 0.08 (2回, 21日) /-/-	
葉にんにく (葉と鱗茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200-220L, 167L/10a	1回	14日	圃場A: 0.22/-/- 圃場B: 0.14/-/-	
みつば (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14日	圃場A: 1.3/-/- 圃場B: 0.8/-/-	
セルリー (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 167, 300L/10a	2回	14日	圃場A: 1.39/-/- 圃場B: 1.36/-/-	
コリアンダー (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L, 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 1.50/-/- 圃場B: 1.48/-/-	
にがうり (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.4/-/- 圃場B: 0.2/-/-	
エンサイ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: 0.91/-/-	
やなぎたで (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 1.45/-/- 圃場B: 0.55/-/-	
つわぶき (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.058/-/- 圃場B: 0.052/-/-	
食用ぎく (花全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 493L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.390/-/- 圃場B: 1.008 (2回, 7日) (#) /-/-	
食用プリムラ (花器全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.57/-/- 圃場B: 0.62/-/-	
かぼちゃ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06/-/- 圃場B: 0.12/-/-	
バナナ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.28/-/- 圃場B: 0.83/-/-	
よもぎ (葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200-300L, 200L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 3.93/-/- 圃場B: 4.94/-/-	
すもも (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.10 (2回, 3日) /-/- 圃場B: 0.18/-/-	
つるむらさき (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A: 0.63/-/- 圃場B: 0.40/-/-	
食用ミニバラ (花器)	2	10%フロアブル	2000倍散布 250L, 240L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 1.45/-/- 圃場B: 1.32/-/-	
キウイフルーツ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
うめ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.52/-/- 圃場B: 0.38 (2回, 3日) /-/-	
えだまめ (さや)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.46/-/- 圃場B: 1.67/-/-	
さやいんげん (さや)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.12/-/- 圃場B: 0.15/-/-	
しゅんぎく (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 12.0 (2回, 3日) /-/- 圃場B: 13.4/-/-	
しょうが (塊茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-	
にんじん (露地)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 178L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.04 (2回, 3日) /-/- 圃場B: 0.02 (2回, 3日) /-/-	
ほうれんそう (茎葉)	2	10%フロアブル	4000倍散布 155L, 180L/10a	1回	14, 21日	圃場A: 1.06/-/- 圃場B: 0.68/-/-	
たらのき (新芽)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	84, 87, 91日	圃場A: 0.02 (2回, 84日) /-/- 圃場B: <0.01 (2回, 84日) /-/-	
はまぼうふう (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	3回	111日 87日	圃場A: <0.1/-/- 圃場B: <0.1/-/-	

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【クロルフェナビル/代謝物D/代謝物F】	
うど (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	71, 78, 85日	圃場A : <0.2 (2回, 71日) /-/	圃場B : <0.2 (2回, 71日) /-/
ふきのとう (花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	98, 105, 112日	圃場A : <0.3 (2回, 98日) /-/	圃場B : <0.3 (2回, 98日) /-/
きく (葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A : 5.82 /-/	圃場B : 5.65 /-/
ブルーベリー (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 350L/10 a, 400L/10 a	3回	7, 14日	圃場A : 0.66 /-/	圃場B : 1.43 /-/
シンゴレン (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14日	圃場A : <0.01 /-/	圃場B : <0.01 /-/
未成熟とうもろこし (種子)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14日	圃場A : <0.01 /-/	圃場B : <0.01 /-/
とうもろこし (乾燥種実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 196, 418, 200L/10 a	2回	7, 14日	圃場A : <0.01 /-/	圃場B : <0.01 /-/

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

クロルフェナピル海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロルフェナピル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト (果実)	2	21.4%SC剤	0.18-0.21 lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A: 0.29 (5回、0日) (#) ^{注2)} 圃場B: 0.29 (5回、0日) (#)
トマト (果実)	2	21.4%SC剤	0.3 lb ai/A 散布	3回	0, 3, 14, 21日	圃場A: 0.14 (3回、3日) (#) 圃場B: 0.57 (3回、0日) (#)
ピーマン (果実)	1	21.4%SC剤	0.18-0.21 lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A: 0.41 (5回、1日) (#)
とうがらし (果実)	1	21.4%SC剤	0.18-0.21 lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A: 0.63 (5回、0日) (#)
とうがらし (果実)	2	21.4%SC剤	0.2 lb ai/A 散布	5回	0, 3, 7, 15日 0, 3, 7, 14日	圃場A: 0.26 (5回、0日) (#) 圃場B: 0.99 (5回、0日) (#)
なし (果実)	3	360g/LSC剤	10-10.8 g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A: 0.23 圃場B: 0.22 圃場C: 0.11 (1回、21日)
なし (果実)	2	360g/LSC剤	20-21.6 g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A: 0.28 (1回、14日) (#) 圃場B: 0.28 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	2	360g/LSC剤	10.8 g ai/100L 散布	1回	14, 21, 28日	圃場A: 0.21 圃場B: 0.16
りんご (果実)	2	360g/LSC剤	21.6 g ai/100L 散布	1回	14, 21, 28日	圃場A: 0.32 (1回、14日) (#) 圃場B: 0.26 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	1	360g/LSC剤	12.5 g ai/100L 散布	1回	14, 30, 45, 60日	圃場A: 0.20 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	1	360g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	1回	14, 30, 45, 60日	圃場A: 0.77 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	2	500g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日 14, 21, 27日	圃場A: 0.42 (2回、14日) (#) 圃場B: 0.43 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	500g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.16 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	240g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.13 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	500g/kgWG剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.56 (2回、21日) (#)
りんご (果実)	2	500g/kgWG剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.20 (2回、14日) (#) 圃場B: 0.25 (2回、21日) (#)
もも (果実)	2	360g/LSC剤	10-10.8 g ai/100L 散布	1回	7, 14, 21日	圃場A: 0.48 圃場B: 0.22
もも (果実)	2	360g/LSC剤	20-21.6 g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A: 0.76 (1回、7日) (#) 圃場B: 0.67 (1回、7日) (#)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
とうもろこし	0.05		申			<0.01,<0.01
小豆類	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(あずき)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.03	0.03	○			<0.005(#),0.006
かんしょ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(#)
てんさい	0.5	0.5	○			0.12(\$),0.05
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.1	0.1	○			0.014,0.02
だいこん類(ラディッシュを含む。)	3	3	○			0.27,1.42(\$)
かぶ類の根	0.2	0.2	○			0.02,0.05(\$)/0.02,0.04
かぶ類の葉	15	15	○			9.60,4.66/9.52,5.37
はくさい	2	2	○			0.64,0.48
キャベツ	1	1	○			0.33,0.30
芽キャベツ	0.3	0.3	○			<0.05,0.08
ケール	10	10	○			(みずな参照)
こまつな	5	5	○			2.84,2.28
きょうな	10	10	○			1.28,4.86(みずな)
チンゲンサイ	10	10	○			(みずな参照)
カリフラワー	1	1	○			0.38(\$),0.154
ブロッコリー	3	3	○			1.10(\$),0.27
その他のあぶらな科野菜	10	10	○			4.62,5.82(\$)(非結球キャベツ(本業))
しゅんぎく	20	20	○			12.0,13.4
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	20	20	○			4.88,11.6(\$)(サラダ菜)
その他のきく科野菜	20	20	○			11.2(\$),4.0(すいぜんじな)
ねぎ(リーキを含む。)	3	3	○			1.30(\$),0.74(葉ねぎ)
アスパラガス	0.5	0.5	○			0.20,0.02
その他のゆり科野菜	0.7	0.7	○			0.22(\$),0.14(葉にんにく)
にんじん	0.2	0.2	○			0.04,0.02
セロリ	3	3	○			1.39,1.36
みつば	3	3	○			1.3,0.8
その他のせり科野菜	2	2	○			0.6(\$),<0.3(あしたば)
トマト	1	1	○			0.35,0.48(\$)(トマト)
ピーマン	1	1	○			0.20,0.36(\$)
なす	1	1	○			0.324(\$),0.164
その他のなす科野菜	5	5	○			2.35,0.90(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	0.5	○			0.166,0.118
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5	○			0.06,0.12(\$)
しろりり	1	1	○			きゅうりの作物残留試験成績の2倍として設定した。
すいか	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
その他のうり科野菜	1	1	○			0.4(\$),0.2(いがり)
ほうれんそう	3	3	○			1.06(\$),0.68
オクラ	0.7	0.7	○			0.22,0.30
しょうが	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
未成熟えんどう	2	2	○			0.58,0.96(#,\$)(未成熟えんどう)
未成熟いんげん	0.5	0.5	○			0.12,0.15(さやいんげん)
えだまめ	5	5	○			0.46,1.67(\$)
その他の野菜	5	5	○			(えだまめ参照)
みかん	0.3	0.3	○			0.07(\$),0.03
なつみかんの果実全体	2	2	○			0.35,0.73
レモン	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
グレープフルーツ	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
その他のかんきつ類果実	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
りんご	2	2	○			0.60,0.69
日本なし	1	1	○			0.35,0.28
西洋なし	1	1	○			(日本なし参照)
マルメロ	0.5	0.5				
びわ	0.5	0.5				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現 行 ppm	登録 有 無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
もも	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
ネクタリン	1	1	○			0.28, 0.45
あんず(アブリコットを含む。)	2	2	○			(うめ参照)
すもも(プルーンを含む。)	0.5	0.5	○			0.10,0.18
うめ	2	2	○			0.52(\$),0.38
おうとう(チェリーを含む。)	1	1	○			0.32(\$),0.12
いちご	5	5	○			0.30,1.54(\$)
ブルーベリー	3		申			0.66,1.43
ぶどう	5	5	○			2.39(\$),0.83
かき	1	1	○			0.39(\$),0.14
バナナ	2	2	○			0.28, 0.83
キウイ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
マンゴー	0.3	0.3	○			0.085,0.080
その他の果実	2	2	○			0.74,0.74(コレンジ)
綿実	0.5	0.5				
茶	40	40	○			30.8(\$),15.8(荒茶)
その他のスパイス	10	10	○			3.90(\$),1.69(みかん果皮)
その他のハーブ	10	10	○			3.93,4.94(よもぎ)
牛の筋肉	0.01	0.01				
豚の筋肉	0.01	0.01				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.01	0.01				
牛の脂肪	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
豚の脂肪	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
牛の肝臓	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
豚の肝臓	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
牛の腎臓	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
豚の腎臓	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
牛の食用部分	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
豚の食用部分	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.05	0.05			0.05: オーストラリア	
乳	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
鶏の筋肉	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
鶏の脂肪	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
鶏の肝臓	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
その他の家きんの肝臓	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
鶏の腎臓	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
その他の家きんの腎臓	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
鶏の食用部分	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
その他の家きんの食用部分	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
鶏の卵	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	
その他の家きんの卵	0.01	0.01			0.01: オーストラリア	

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

クロルフェナビル推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
どうもろこし	0.05	0.01	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
小豆類	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.03	0.0055	0.3	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.8	0.2	0.9	0.2	0.7	0.1	0.8	0.2
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
てんさい	0.5	0.085	2.3	0.4	1.9	0.3	1.7	0.3	2.0	0.3
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.1	0.017	4.5	0.8	1.9	0.3	2.9	0.5	5.9	1.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	3	0.845	6.6	1.9	1.5	0.4	2.7	0.8	10.2	2.9
かぶ類の根	0.2	0.035	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.8	0.1
かぶ類の葉	15	7.445	7.5	3.7	1.5	0.7	4.5	2.2	16.5	8.2
はくさい	2	0.56	58.8	16.5	20.6	5.8	43.8	12.3	63.4	17.8
キャベツ	1	0.315	22.8	7.2	9.8	3.1	22.9	7.2	19.9	6.3
芽キャベツ	0.3	0.065	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	10	1.892	1.0	0.2	1.0	0.2	1.0	0.2	1.0	0.2
こまつな	5	2.56	21.5	11.0	10.0	5.1	8.0	4.1	29.5	15.1
きょうな	10	3.07	3.0	0.9	1.0	0.3	1.0	0.3	3.0	0.9
チンゲンサイ	10	1.892	14.0	2.6	3.0	0.6	10.0	1.9	19.0	3.6
カリフラワー	1	0.267	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
ブロッコリー	3	0.685	13.5	3.1	8.4	1.9	14.1	3.2	12.3	2.8
その他のあぶらな科野菜	10	5.22	21.0	11.0	3.0	1.6	2.0	1.0	31.0	16.2
しゅんぎく	20	12.7	50.0	31.8	12.0	7.6	38.0	24.1	74.0	47.0
レタス (サラダ菜及びびししゃを含む。)	20	8.24	122.0	50.3	50.0	20.6	128.0	52.7	84.0	34.6
その他のさく科野菜	20	7.6	8.0	3.0	2.0	0.8	10.0	3.8	14.0	5.3
ねぎ (リーキを含む。)	3	1.02	33.9	11.5	13.5	4.6	24.6	8.4	40.5	13.8
アスパラガス	0.5	0.11	0.5	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.4	0.1
その他のゆり科野菜	0.7	0.18	0.6	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	1.3	0.3
にんじん	0.2	0.03	4.9	0.7	3.3	0.5	5.0	0.8	4.5	0.7
セロリ	3	1.375	1.2	0.6	0.3	0.1	0.9	0.4	1.2	0.6
みつば	3	1.05	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6	0.2
その他のせり科野菜	2	0.45	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.6	0.1
トマト	1	0.415	24.3	10.1	16.9	7.0	24.5	10.2	18.9	7.8
ピーマン	1	0.28	4.4	1.2	2.0	0.6	1.9	0.5	3.7	1.0
なす	1	0.244	4.0	1.0	0.9	0.2	3.3	0.8	5.7	1.4
その他のなす科野菜	5	1.625	1.0	0.3	0.5	0.2	0.5	0.2	1.5	0.5
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.5	0.142	8.2	2.3	4.1	1.2	5.1	1.4	8.3	2.4
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.5	0.09	4.7	0.8	2.9	0.5	3.5	0.6	5.8	1.0
しろうり	1	1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	0.8
すいか	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	1	0.3	0.5	0.2	0.1	0.0	2.3	0.7	0.7	0.2
ほうれんそう	3	0.87	56.1	16.3	30.3	8.8	52.2	15.1	65.1	18.9
オクラ	0.7	0.26	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
しょうが	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	2	0.77	1.2	0.5	0.4	0.2	1.4	0.5	1.2	0.5
未成熟いんげん	0.5	0.135	1.0	0.3	0.6	0.2	0.9	0.2	0.9	0.2
えだまめ	5	1.065	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他の野菜	5	0.657	63.0	8.3	48.5	6.4	48.0	8.3	61.0	8.0
みかん	0.3	0.05	12.5	2.1	10.6	1.8	13.7	2.3	12.8	2.1
なつみかんの果実全体	2	0.54	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
レモン	2	0.455	0.6	0.1	0.4	0.1	0.6	0.1	0.6	0.1
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	0.455	0.8	0.2	1.2	0.3	1.6	0.4	0.4	0.1
グレープフルーツ	2	0.455	2.4	0.5	0.8	0.2	4.2	1.0	1.6	0.4
ライム	2	0.455	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.455	0.8	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	1.2	0.3
りんご	2	0.645	70.6	22.8	72.4	23.3	60.0	19.4	71.2	23.0
日本なし	1	0.315	5.1	1.6	4.4	1.4	5.3	1.7	5.1	1.6
西洋なし	1	0.315	0.10	0.0	0.10	0.03	0.10	0.03	0.10	0.0
マルメロ	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
もも	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
ネクタリン	1	0.365	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
あんず (アプリコットを含む。)	2	0.295	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
すもも (プルーンを含む。)	0.5	0.14	0.1	0.0	0.1	0.0	0.7	0.2	0.1	0.0
うめ	2	0.45	2.2	0.5	0.6	0.1	2.8	0.6	3.2	0.7
おうとう (チェリーを含む。)	1	0.22	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
いちご	5	0.92	1.5	0.3	2.0	0.4	0.5	0.1	0.5	0.1
ブルーベリー	3	1.045	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
ぶどう	5	1.61	29.0	9.3	22.0	7.1	8.0	2.6	19.0	6.1
かき	1	0.265	31.4	8.3	8.0	2.1	21.6	5.7	49.6	13.1
バナナ	2	0.555	25.2	7.0	22.6	6.3	17.4	4.8	35.4	9.8
キウイ	0.05	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
マンゴー	0.3	0.083	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	2	0.74	7.8	2.9	11.8	4.4	2.8	1.0	3.4	1.3
雑果	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	40	0.29	120.0	0.9	56.0	0.4	140.0	1.0	172.0	1.2
その他のスパイス	10	2.795	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3
その他のハーブ	10	4.435	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4
陸棲哺乳類の肉類	0.05	0.05	2.9	2.9	1.6	1.6	3.0	3.0	2.9	2.9
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.01	1.4	1.4	2.0	2.0	1.8	1.8	1.4	1.4
家禽の肉類	0.01	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	0.01	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
計			888.5	262.6	476.6	133.6	756.0	209.2	996.4	287.6
ADI比 (%)			64.1	18.9	115.7	32.6	52.3	14.5	70.7	20.4

高齢者及び妊婦については摂取量データの一部がないため、国民平均の摂取量を参考とした。

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

(参考)

これまでの経緯

平成 8年	4月25日	初回農薬登録
平成17年	9月22日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：いちご及びとうがらし類）
平成17年10月	4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年11月	29日	残留農薬基準告示
平成18年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成19年	3月15日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かぶ、さやえんどう等）
平成19年	9月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成20年11月	27日	残量農薬基準告示
平成20年11月	27日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：すもも、キウイフルーツ及びキャベツ）
平成21年	1月20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成21年11月	5日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成22年12月	13日	残量農薬基準告示
平成22年12月	21日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：はくさい、ブロッコリー、しゅんぎく、にんじん、ほうれんそう、しょうが、豆類（未成熟）及び小粒核果類）
平成23年	2月8日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	9月8日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	2月1日	残量農薬基準告示
平成25年	4月17日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：とうもろこし及びブルーベリー）
平成25年	6月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年	7月29日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成26年	1月8日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成26年1月	17日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井	里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当部長
延東	真	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
○大野	泰雄	国立医薬品食品衛生研究所名誉所長
尾崎	博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤	貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐藤	清	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
高橋	美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山	敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター薬学教育部門教授
根本	了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
宮井	俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内	明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田	克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成	浩一	東北大学大学院薬学研究科薬物動態学分野准教授
鰐淵	英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○：部会長)

答申(案)

クロルフェナピル

食品名	残留基準値
	ppm
とうもろこし	0.05
小豆類 ^{注1)}	0.05
さといも類(やつがしらを含む。)	0.03
かんしょ	0.05
やまいも(長いもをいう。)	0.05
てんさい	0.5
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.1
だいこん類(ラディッシュを含む。)	3
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	15
はくさい	2
キャベツ	1
芽キャベツ	0.3
ケール	10
こまつな	5
きょうな	10
チンゲンサイ	10
カリフラワー	1
ブロッコリー	3
その他のあぶらな科野菜 ^{注2)}	10
しゅんぎく	20
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	20
その他のきく科野菜 ^{注3)}	20
ねぎ(リーキを含む。)	3
アスパラガス	0.5
その他のゆり科野菜 ^{注4)}	0.7
にんじん	0.2
セロリ	3
みつば	3
その他のせり科野菜 ^{注5)}	2
トマト	1
ピーマン	1
なす	1
その他のなす科野菜 ^{注6)}	5
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5
しろり	1
すいか	0.05
その他のうり科野菜 ^{注7)}	1
ほうれんそう	3
オクラ	0.7
しょうが	0.05
未成熟えんどう	2
未成熟いんげん	0.5
えだまめ	5
その他の野菜 ^{注8)}	5
みかん	0.3
なつみかんの果実全体	2
レモン	2
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2
グレープフルーツ	2
ライム	2
その他のかんきつ類果実 ^{注9)}	2

注1)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注2)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注3)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

注4)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注5)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注6)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注7)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注8)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

クロルフェナピル

食品名	残留基準値
	ppm
りんご	2
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	0.5
びわ	0.5
もも	0.05
ネクタリン	1
あんず(アブリコットを含む。)	2
すもも(ブルーンを含む。)	0.5
うめ	2
おうとう(チェリーを含む。)	1
いちご	5
ブルーベリー	3
ぶどう	5
かき	1
バナナ	2
キウイー	0.05
マンゴー	0.3
その他の果実 ^{注10)}	2
綿実	0.5
茶	40
その他のスパイス ^{注11)}	10
その他のハーブ ^{注12)}	10
牛の筋肉	0.01
豚の筋肉	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注13)} の筋肉	0.01
牛の脂肪	0.05
豚の脂肪	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05
牛の肝臓	0.05
豚の肝臓	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.05
牛の腎臓	0.05
豚の腎臓	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05
牛の食用部分 ^{注14)}	0.05
豚の食用部分	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.05
乳	0.01
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん ^{注15)} の筋肉	0.01
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01

注10)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注11)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注12)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレンソ、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注13)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注14)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注15)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

